



## FY2025 上期決算説明会

2025年11月11日

パーソルホールディングス株式会社

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

パーソルホールディングス株式会社

2025 年 11 月 11 日（火） 16:30-17:15 開催

FY2025 上期決算説明会 書き起こし

## ハイライト



- 1 FY2025上期業績は計画通り順調に進捗し、通期目標は達成の見通し**
  - 上期は増収増益、売上収益及び全ての段階利益で過去最高を更新
  - 下期はM&Aに伴う一時的なPMI費用を見込むも、上期の上振れ分で吸収し、調整後EBITDA10%成長（865億円）及び営業利益（660億円）の通期目標は達成の見通し
- 2 テクノロジードリブンの人材サービス企業への進化に向けて**
  - AIドリブンの人材派遣プラットフォーム、Gojobの株式取得
- 3 来期以降も調整後EBITDA10%成長を目指す**
  - 各事業のビジネスモデルを磨き収益性を高め、調整後EBITDAの10%成長を継続
  - 株主還元とのバランスを保ちながら、資本効率を意識した規律ある成長投資を推進

本資料における留意点について

- \*1 FY2024は2025年3月期、FY2025は2026年3月期を指す
- \*2 「中間利益」は、親会社の所有者に帰属する中間利益の金額を表示
- \*3 SBUは Strategic Business Unit、FUは Function Unitの略
- \*4 「上期」はQ1・Q2の累計、「Q2」は四半期単体として記載

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2

【代表取締役社長 CEO 和田】

本日はご参加いただき誠にありがとうございます。

代表取締役社長の和田でございます。

本日皆さんにお伝えしたいのはこちらの3点でございます。

まず1点目は、2025年上期の業績でございます。

上期業績は計画通り進捗しており、通期におきましても計画達成の見通しでございます。特にこの上期はすべての段階利益で過去最高を更新しております。また、下期におきましても、一定 M&A の費用がございますけれども、それも踏まえまして調整後 EBITDA10%成長の 865 億円は実現できるものと見立てております。

それから2点目は、10月1日に Gojob の株式を取得しておりますので、それに関しまして後ほど少しご説明をさせていただきます。

それから3点目、来期以降に関しまして少し言及をさせていただきます。来期以降の成長もしっかりと実現させていきたいというお話とともに、株主還元等のバランスをしっかりと保ちながら、資本効率をしっかりと意識した規律ある成長を実現してまいりたいと考えております。

それでは、上期の決算概要等につきまして、CFO の徳永からご説明をさせていただきます。徳永さんお願いします。

# FY2025 上期決算概要

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【執行役員 CFO 徳永】

徳永でございます。

それでは私から上期の全社の決算概要、その後 SBU 別の決算概要と足元の状況、最後に中間配当について説明をいたします。

## FY2025 上期 決算サマリー（連結）



売上収益・各段階利益のいずれも前年同期比で増収増益  
通期業績予想に対しても順調に進捗

(Million yen)	FY2024 上期実績	FY2025 上期実績	YoY	通期業績予想	進捗率
売上収益	717,586	<b>752,741</b>	+4.9%	1,540,000	48.9%
売上総利益	165,762	<b>174,713</b>	+5.4%	-	-
営業利益 <sup>*1</sup>	32,102	<b>36,603</b>	+14.0%	66,000	55.5%
営業利益率	4.5%	<b>4.9%</b>	+0.4pt	4.3%	-
調整後EBITDA	42,774	<b>44,347</b>	+3.7%	86,500	51.3%
調整後EBITDA Margin	6.0%	<b>5.9%</b>	△0.1pt	5.6%	-
中間利益 <sup>*1,2</sup>	21,381	<b>23,976</b>	+12.1%	41,000	58.5%
調整後中間利益 <sup>*2</sup>	24,819	<b>24,926</b>	+0.4%	45,500	54.8%
EPS (Yen) <sup>*1,2</sup>	9.56	<b>10.93</b>	+14.3%	18.37	59.5%
調整後EPS (Yen) <sup>*2</sup>	10.99	<b>11.23</b>	+2.2%	20.39	55.1%

<sup>\*1</sup> 一部事業の売却益約27億円をFY2025Q2に計上（当売却益は営業利益・中間利益・EPSには含み、調整後EBITDA・調整後中間利益・調整後EPSには含まず）

<sup>\*2</sup> FY2024Q1にオーストラリアのProgrammed社での法人税還付13億円を計上

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

4

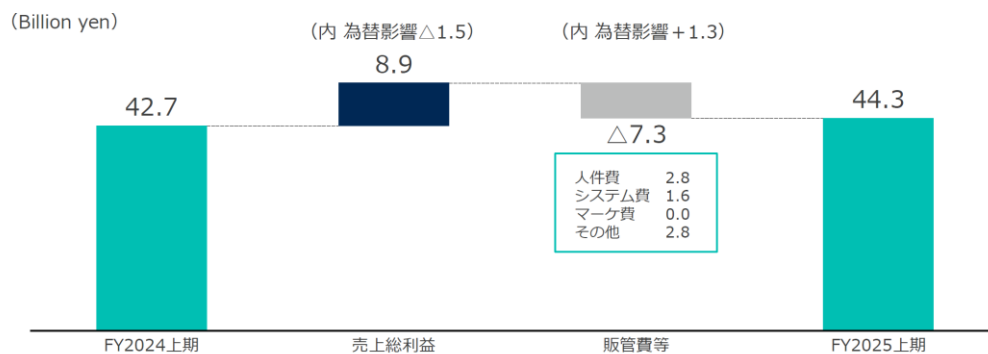
まず、上期の全社の決算概要でございますが、売上収益、そして売上総利益につきましては、前年対比で 5% 前後の成長でございました。

また先ほど和田から説明のあったとおり、各段階利益も過去最高でございます。具体的に申し上げますと、営業利益につきましては前年対比 14%増の 366 億円、そして調整後 EBITDA につきましては、3.7%増の 443 億円。また、中間利益につきましても 12%増の 239 億円でございました。この後少し説明いたしますが、9 月に棚卸事業を売却し、27 億円の利益が出てございます。その影響で、営業利益と中間利益は大幅に伸びています。なお調整後 EBITDA には一過性の売却益は含んでおりませんので、差が出てございます。

## FY2025 上期 調整後EBITDAの増減分析（前年同期比）



売上総利益は堅調に増加、コストの最適化により調整後EBITDAも増益



\* 為替レート（期中平均）【豪ドル】 FY2024上期：101.3円、FY2025上期：94.6円（グラフ内の為替影響の符号は利益に対する増減を記載）

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

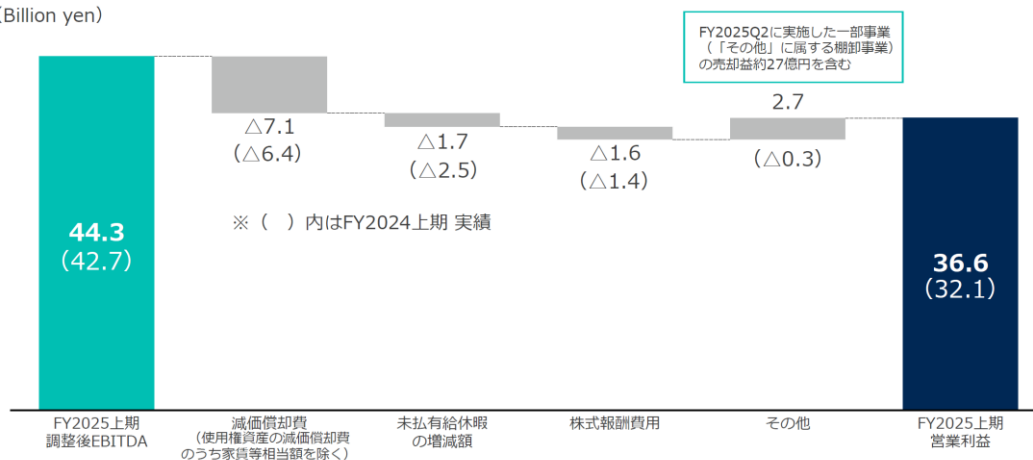
続きまして、昨年の上期対比での調整後 EBITDA の増減要因でございます。

まず売上総利益につきましては、89 億円の増でございました。一方で、販管費につきましては人件費、システム費等が増えたため 73 億円の増となっており、ネットで 16 億円の調整後 EBITDA の増益になっています。また記載のとおり、為替の影響が粗利は前年対比で 15 億円、販管費は 13 億円、ネットで約 2 億円程度の減ということで影響が出ています。

## FY2025 上期 調整後EBITDAと営業利益



(Billion yen)



\* 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (使用権資産の減価償却費のうち家賃等相当額を除く) + (-) 未払有給休暇の増額 (減額) + 株式報酬費用 - (+) その他の収益 (費用) - (+) その他恒常的でない収益 (損失)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

続きまして、調整後 EBITDA と営業利益の差でございます。

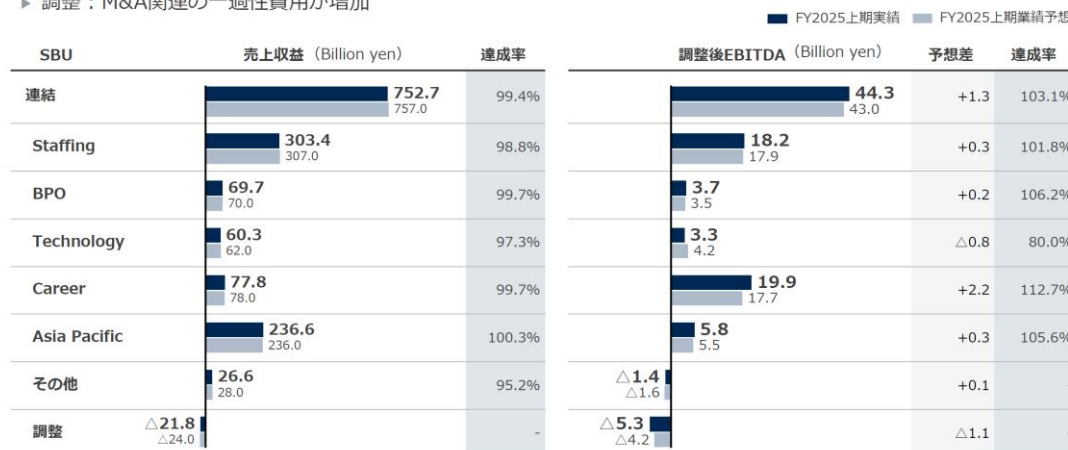
まず減価償却費につきましては前年上期から 7 億円の増でございました。一方で、未払有給費用の追加の引当分についてはマイナス 8 億円でございます。これは主に Asia Pacific SBU の影響でございます。また最後に、先程説明しましたとおり、棚卸事業の売却益 27 億円が足され、営業利益は 366 億円でございました。

## FY2025 上期業績 達成状況



調整後EBITDAの主な増減要因：Career SBUの上振れが、Technology SBUと調整の下振れを補完

- ▶ Career SBU：コンサルタントの生産性向上が寄与
- ▶ Technology SBU：グループ内案件遅延の影響（上期で収束）
- ▶ 調整：M&A関連の一過性費用が増加



\* 為替レート（期中平均）【豪ドル】FY2025上期：94.6円、FY2025期初予想：95.0円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

7

続きまして、上期の計画に対する達成状況の説明でございます。

まず売上収益でございますが、ご覧いただいたとおり各 SBU とも 100%前後ということで、ほぼ計画通りの達成状況でございます。

一方で調整後 EBITDA は、Technology SBU でマイナス 8 億円となっております。この理由については後ほど説明いたしますが、グループ内のシステム開発の遅延に伴う影響でございます。また調整、これは主にホールディングスの費用でございますが、Gojob 等の M&A の費用が期初見通しからプラスになっておりますので、11 億円悪化しています。その他の SBU につきましては、上期の計画に対してそれぞれ上振れ、合計で 13 億円、調整後 EBITDA が増益という状況でございました。

## 【参考】FY2025 SBU別 上期達成率/通期進捗率



(Billion yen)	売上収益					調整後EBITDA					営業利益				
	上期実績	上期予想	上期達成率	通期予想	通期進捗率	上期実績	上期予想	上期達成率	通期予想	通期進捗率	上期実績	上期予想	上期達成率	通期予想	通期進捗率
連結	752.7	757.0	99.4%	1,540.0	48.9%	44.3	43.0	103.1%	86.5	51.3%	36.6	34.3	106.7%	66.0	55.5%
Staffing	303.4	307.0	98.8%	618.0	49.1%	18.2	17.9	101.8%	34.2	53.3%	16.7	16.1	104.1%	29.7	56.4%
BPO	69.7	70.0	99.7%	147.0	47.5%	3.7	3.5	106.2%	10.0	37.2%	2.4	2.3	106.1%	7.9	30.9%
Technology	60.3	62.0	97.3%	129.0	46.8%	3.3	4.2	80.0%	10.0	33.6%	2.6	3.3	81.4%	8.3	32.4%
Career	77.8	78.0	99.7%	155.0	50.2%	19.9	17.7	112.7%	34.1	58.5%	17.0	15.1	112.7%	28.5	59.7%
Asia Pacific	236.6	236.0	100.3%	482.0	49.1%	5.8	5.5	105.6%	11.0	52.8%	3.8	3.2	121.5%	7.8	49.9%
その他	26.6	28.0	95.2%	59.0	45.2%	△1.4	△1.6	-	△1.8	-	△0.1	△0.6	-	△2.3	-
調整	△21.8	△24.0	-	△50.0	-	△5.3	△4.2	-	△11.0	-	△6.0	△5.1	-	△13.9	-

\* 為替レート（期中平均）【豪ドル】FY2025上期：94.6円、FY2025期初予想：95.0円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

各 SBU 別の売上収益、調整後 EBITDA、営業利益の上期の達成状況と、通期の目標に対する進捗率を記載しておりますので、後ほど詳しくご覧ください。調整後 EBITDA の Technology SBU の進捗率が通年よりも遅れているのは、先程説明したグループ内のシステム開発の遅延に伴う影響でございます。

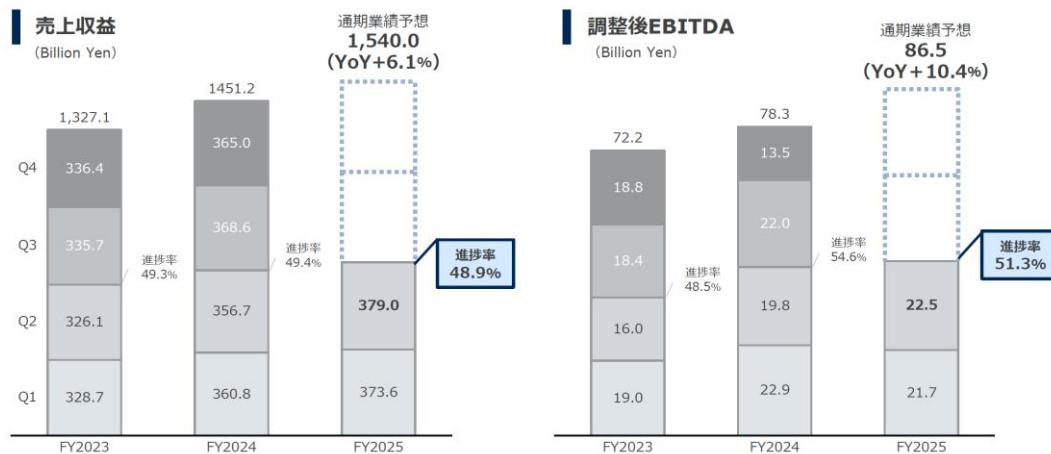


## 売上収益・調整後EBITDAの通期見通し



調整後EBITDAは上期計画通りに進捗

下期はPMI等の費用増を見込むも上期の上振れ分で吸収し、通期業績予想は据え置き



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

9

続きまして、下期の見通しを含めた通期の見通しを記載しています。

まず売上収益につきましては、上期もほぼ計画通り進捗いたしましたので、下期もほぼ計画通り進捗すると見ております。

調整後 EBITDA につきましては、先程和田の方からも説明がありましたとおり、Gojob を買収したことに伴う PMI 費用等で、期初の想定から 10 億円程度費用が増えると現在は見ておりますが、上期 13 億円利益が上振れましたので、それで吸収して通期の 865 億円は達成できる見通しでございます。

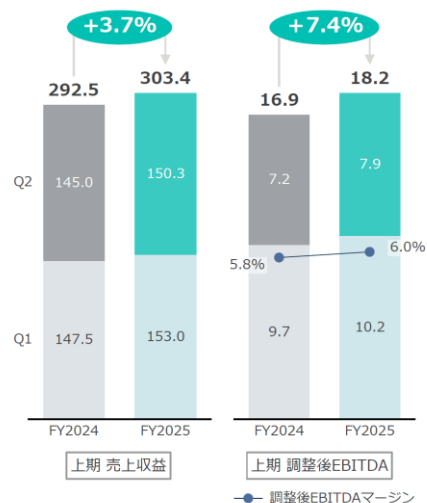
# FY2025 上期 SBU別決算概要

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

続きまして SBU 別の決算概要でございます。

## Staffing SBU (P/L分析)

(Billion Yen)



\* 2025年4月にStaffing SBUの一部事業をその他セグメントへ移行しており、FY2024は遡及修正した数値を記載。これを受け、売上増減分析のFY2025は遡及修正したFY2024の数値と比較

### 売上収益

- Q2も就業者数は安定成長、請求単価は見込み通りに推移

### ■売上増減分析 (YoY)

単位: %	FY2024				FY2025	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
就業者数	+3.1	+3.0	+2.6	+2.1	+2.2	+2.2
請求単価	+2.0	+1.9	+1.9	+1.9	+2.1	+2.1
就業日数	0.0	0.0	+1.6	△1.7	0.0	0.0
就業時間	△0.6	△0.2	△1.2	+0.7	△0.7	△0.1

\* 各KPIについての定義はP23に掲載

### 調整後EBITDA

- 増収効果及び販管費の適正化によりQ2も増益

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

14

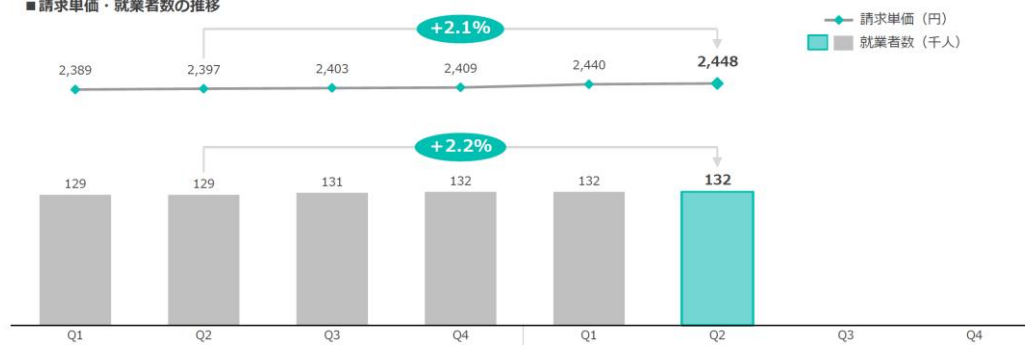
まず Staffing SBU でございます。

KPI を見ていただくと、Q2 は就業者数が Q1 同様 2.2%の増。また請求単価につきましても 2.1%の増ということで、全体として昨年の上期対比で 3.7%の増収になりました。また販管費のコントロールも適正に行うことができましたので、結果として昨年上期対比で 7.4%増、182 億円の利益を達成しています。

## Staffing SBU（請求単価・就業者数の推移）



■ 請求単価・就業者数の推移



■ 就業日数（日）

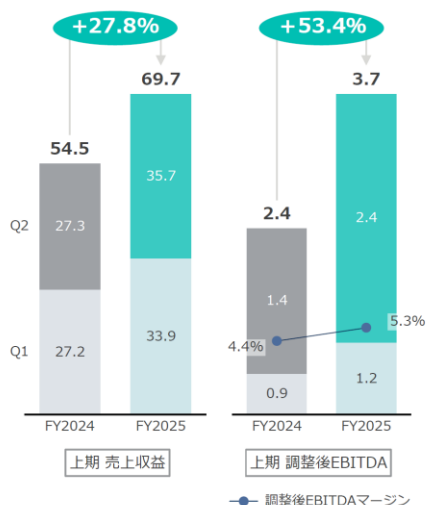
FY2024				FY2025			
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
62	59	62	57	62	59	60	58

- \* 2025年4月にStaffing SBUの一部事業をその他セグメントへ移管したことに伴い、就業者数と請求単価は過去に遡って数値を修正
- \* 請求単価の集計方式をFY2025より見直したことに伴い、過去に遡って数値を修正
- \* FY2025Q1の決算説明資料において、FY2024Q3及びQ4の請求単価に誤りがあったため訂正

四半期別の Staffing SBU の請求単価と、就業者数を書いておりますので、後ほどご覧いただきたいと思います。

## BPO SBU (P/L分析)

(Billion Yen)



### 売上収益

- 顧客の生産性向上を目的としたIT関連BPOや公共領域（自治体・官公庁等）が好調のため、Q2のオーガニック\*1はYoY+11.5%

### 調整後EBITDA

- オーガニックの増収効果に加え、前期の事業再編に伴う一過性費用がなくなったことにより増益

#### ■売上収益及び調整後EBITDAの内訳

(Billion yen)	FY2024				FY2025	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上収益	27.2	27.3	28.8	33.8	33.9	35.7
オーガニック	26.7	26.8	28.8	29.7	28.1	29.9
オーガニックYoY	+14.2%	+8.8%	+13.1%	+9.0%	+5.2%	+11.5%
COVID-19	0.4	0.4	-	-	-	-
CSL*2	-	-	-	4.0	5.8	5.8
調整後EBITDA	0.9	1.7	2.0	1.9	1.1	2.4
オーガニック	0.7	1.2	2.2	1.5	0.8	2.1
COVID-19	0.1	0.1	-	-	-	-
CSL*2	-	-	-	0.4	0.4	0.3

\*1 オーガニック：COVID-19関連案件及び2025年2月にM&AしたCSL分を除く

\*2 CSL：パーソルコミュニケーションサービス株式会社（旧富士通コミュニケーションサービス株式会社）

\*3 FY2024Q2より一部事業をBPO SBUからTechnology SBUに移管（適及修正なし）

Copyright © PERSONAL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

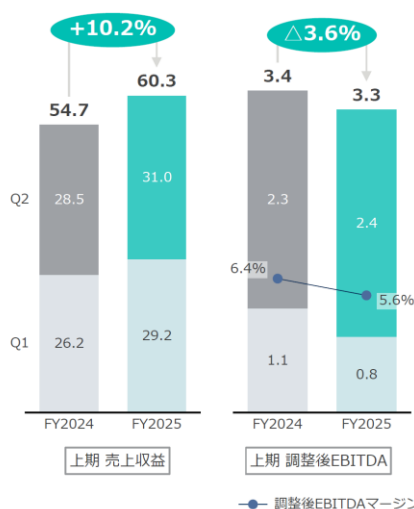
16

続きまして、BPO SBU でございます。

BPO SBU につきましては、昨年度 CSL（パーソルコミュニケーションサービス株式会社）を買収した影響により、売上収益は約 27%の増、調整後 EBITDA も 53%の増ということで、大幅な増収増益を達成してございます。CSL の買収等を除いた売上収益と調整後 EBITDA をオーガニックと呼んでいますが、Q2 につきましては 11%の増でございました。上期累計でも 8%強の増収ということで、記載のとおり公共領域、自治体等が好調な状況でございます。

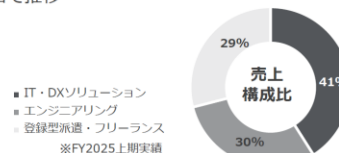
## Technology SBU (P/L分析)

(Billion Yen)



### 売上収益

- Q2も各領域にてエンジニア数・単価の増加が寄与し増収
  - IT・DXソリューション (YoY+6.3%) : エンジニア数増
  - エンジニアリング (YoY+8.6%) : エンジニア数・平均売上単価ともに伸長
  - 登録型派遣・フリーランス (YoY+1.5%) : 請求単価増
- 退職率はQ2も計画通り8%台で推移



### 調整後EBITDA

- Q1に引き続き、Q2も一部のグループ内案件の遅延対応がマイナス影響 (影響額はQ1 : △2.8億円、Q2 : △2.2億円、遅延対応は上期で収束)

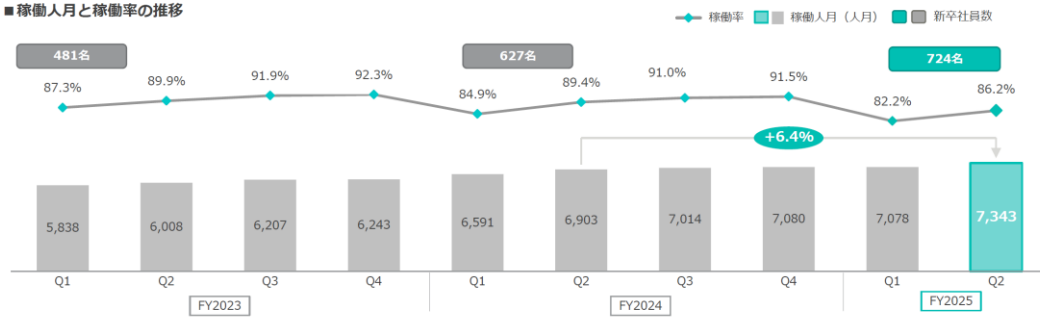
\* FY2024Q2より一部事業をBPO SBUからTechnology SBUに移管 (過及修正なし)

Technology SBU でございます。まず売上収益につきましては昨年の上期同様 10%の増収でございます。内訳につきましては右の方に記載してございますが、IT・DX ソリューションで約 6%の増収。機械、電気のエンジニアリングで 8%強の増収。それから登録型派遣・フリーランスで 1.5%の増収ということで、それぞれ増収を達成してございます。また退職率につきましても、Q2 において 8%台でマネージできている状況でございます。一方で調整後 EBITDA につきましては、冒頭説明いたしましたグループ内のシステム開発の遅延に伴いまして、上期全体で 5 億円程度当初の計画よりも費用が増えている状況でございます。ただ、こちらにつきましては上期で収束いたしましたので、下期についてはこの遅延の影響は出ないものと見ています。

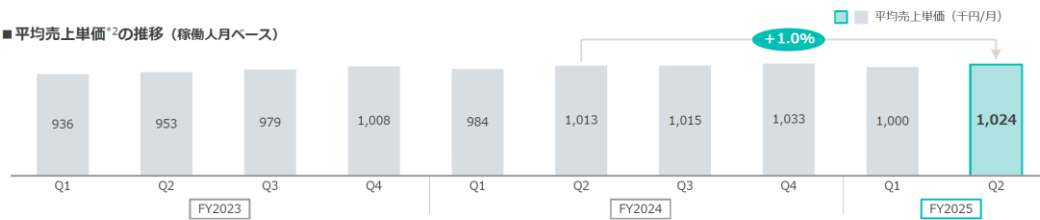
## Technology SBU（稼働人月、稼働率、平均売上単価の推移）



### ■稼働人月と稼働率の推移



### ■平均売上単価<sup>\*2</sup>の推移（稼働人月ベース）



\*1 各KPIは自社社員のみを算出 \*2 平均売上単価＝売上÷稼働人月で算出（ビジネスパートナーを含む）

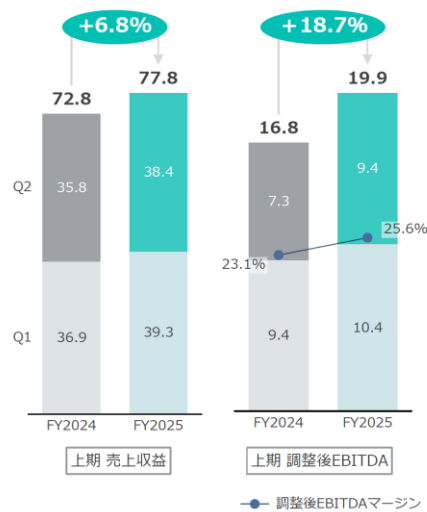
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

18

こちらは登録型派遣・フリーランスを除いた正社員ベースの稼働人月、稼働率、売上単価を記載してございますので、後ほどご覧いただけたらと思います。

## Career SBU (P/L分析)

(Billion Yen)



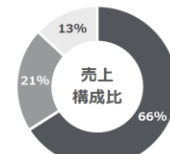
### 売上収益

- Q2も引き続き人材紹介・求人メディアともに増収
- 人材紹介の事業環境は期初見立てから変わらず
  - ▶ ボリューム層\*は個人・法人とも引き続き慎重姿勢
  - ▶ ハイクラス層\*は高成長が継続

\*ボリューム層：年収帯が400～600万円の転職希望者  
ハイクラス層：年収帯が600万円以上の転職希望者

### 売上増減 (YoY)

単位：%	FY2024				FY2025	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
人材紹介	+14.3	+11.6	+8.0	+7.2	+4.2	+5.3
求人メディア	+13.0	+12.4	+8.8	+10.6	+7.6	+6.0



■ 人材紹介  
■ 求人メディア  
■ その他  
※FY2025上期実績

### 調整後EBITDA

- マーケティング投資はQ2も計画通り積極的に実施
- 増収効果及び生産性向上により、Q2も増益

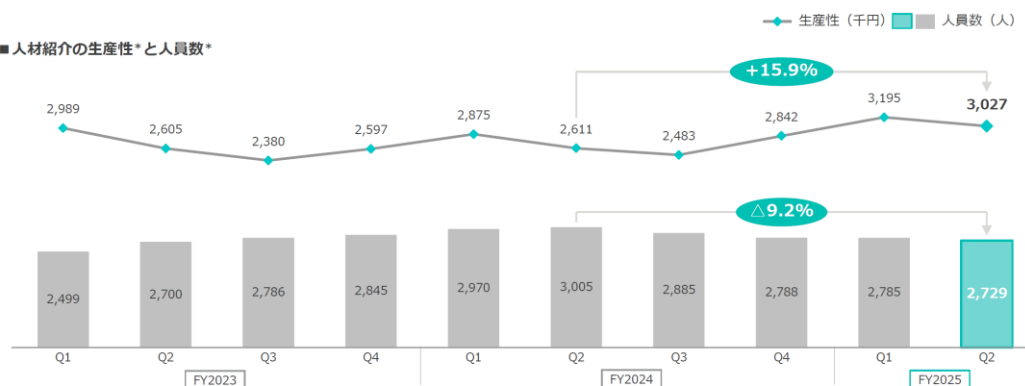
続いて Career SBU でございます。

まず Career SBU のマーケットの状況でございますが、Q2 は Q1 から大きな変化はございませんでした。まずボリュームゾーンにつきましては、個人のお客様、法人のお客様とも引き続き慎重な状況でございます。一方で、ハイクラスについては高成長が継続している状況でございます。結果としてグラフのとおり、昨年上期対比で 6.8% の増収になっています。また利益につきましては、マーケティング投資を昨年の上期対比で今年度上期は 10 億円程度増やしてございます。マーケティング費以外の費用につきましては適正にコントロールしておりまして、調整後 EBITDA につきましては 18.7% の増益となっています。

## Career SBU（人材紹介の生産性と人員数）



■人材紹介の生産性\*と人員数\*



■YoYの推移

単位：%	FY2023				FY2024				FY2025	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
生産性	-	-	-	-	△3.8	+0.2	+4.3	+9.4	+11.1	+15.9
人員数	-	-	-	-	+18.8	+11.3	+3.5	△2.0	△6.2	△9.2

\* 生産性：人材紹介全体の月平均売上÷人員数 \* 人員数：人材紹介全体のフロント人員数（各月の月初平均）

\* FY2025より人材紹介事業における集計対象を、主たるサービスからサービス全体に拡大したことに伴い、過去の数値についても適及修正

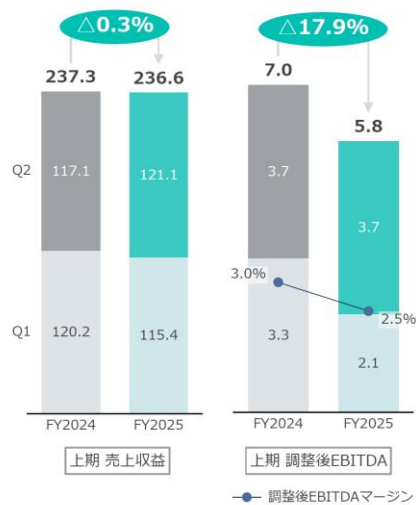
\* FY2025Q1の人員数に誤りがあったため、FY2025Q1の人員数と生産性の実数及びYoYを訂正

また、人材紹介の生産性と人員数でございますが、まず生産性につきましてはQ 1 同様大きく改善しています。コンサルタントの数につきましては、Q 1 の2,785 名から若干減ってございます。これにつきましては、来期の人材紹介のマーケットの見通しを踏まえながら、下期必要があれば生産性を落とさない範囲で増員も検討していきたいと考えております。



## Asia Pacific SBU (P/L分析)

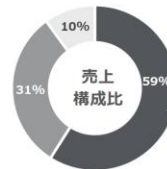
(Billion Yen)



\* 為替レート (期中平均) 【豪ドル】 FY2024上期: 101.3円、FY2025上期: 94.6円

### 売上収益

- Q2は4.7%増収 (為替影響除く)
  - ▶ ファシリティマネジメント: 好調
  - ▶ 人材派遣: アジア地域は堅調、オーストラリアは低調
  - ▶ 人材紹介: 引き続き低調
- 為替影響: 上期△137億円 (Q1: △106億円、Q2: △30億円)



人材サービスの内訳		
人材派遣	94%	人材紹介
		3%
その他	3%	

※FY2025上期実績

### 調整後EBITDA

- システム刷新費用は、Q2に3億円、上期では合計8億円
- 為替影響: 上期△3億円 (Q1: △1.7億円、Q2: △1.2億円)
- Q1において利益減少要因となった補助金は、Q2では影響なし (FY2024 Q1: 7億円計上、FY2025 Q1: 1億円計上、差額 △6億円)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

21

最後のSBUでございます、Asia Pacific SBUでございます。

まず為替の影響から申し上げますが、上期で137億円のマイナスの影響が出ておりますが、現地通貨で見た場合は約5%の増収ということでございます。

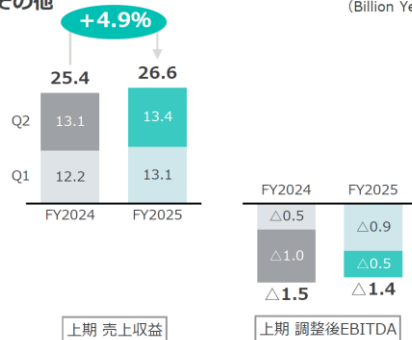
それぞれの事業、マーケットの状況でございますが、ファシリティマネジメントは引き続き好調でございます。人材派遣は少しまだ模様でございます、アジア地域は堅調ですが、オーストラリアはやや低調な状況でございます。また人材紹介は、アジア、それからオーストラリアも含めてやや低調な状況が続いてございます。また、調整後EBITDAにつきましては、Q1の決算発表でも説明いたしましたが、今年度はファシリティマネジメント事業を中心に約20億円のシステム刷新費用を計画してございます。上期につきましては8億円の計上をいたしました。また為替の影響は、調整後EBITDAで上期3億円程度出ています。

## その他・調整 (P/L分析)



### ■ その他

(Billion Yen)

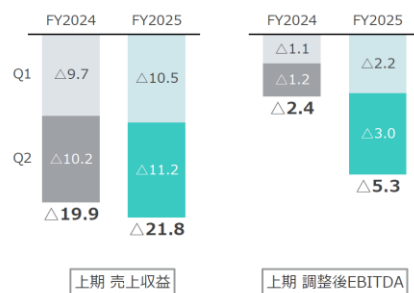


### 業績コメント

- 増収効果及びコスト最適化により赤字縮小

### ■ 調整

(Billion Yen)



### 業績コメント

- グループ内取引の増加に伴い連結消去額が増加
- システム費やM&A関連等で販管費が増加

\* 2025年4月にStaffing SBUの一部事業をその他セグメントへ移管しており、FY2024は遡及修正した数値を記載

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

22

その他・調整でございますが、その他につきましては昨年度上期比較で大きな変化はございません。調整につきましてはホールディングスの財務会計、管理会計のシステム費用が前年対比で増えたということと、繰り返しになりますが Gojob 等の M&A 費用が増えたということで、約 30 億円の費用が増えてございます。

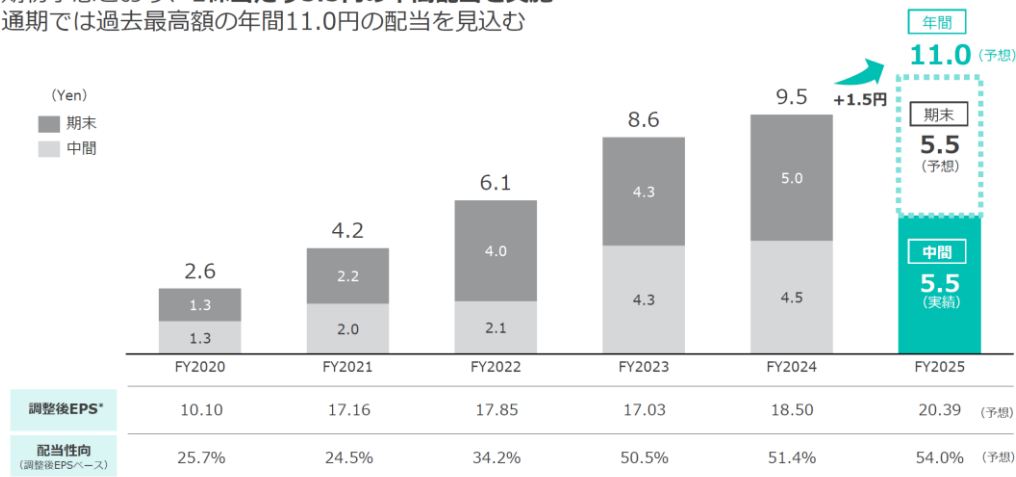
## FY2025 中間配当

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

続いて中間配当について簡単に説明をいたします。

### FY2025 中間配当

期初予想どおり、**1株当たり5.5円の中間配当を実施**  
通期では過去最高額の年間11.0円の配当を見込む



\* 2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行ったため、1株当たり配当金額及び調整後EPSは過年度分も含め当該株式分割が行われたと仮定して換算  
\* FY2025のEPS (1株当たり利益) ベースの配当性向は60.1% (予想)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

26

年度初めに通期で年間 11 円の配当予想を開示していましたが、中間配当につきましては予定通り 5.5 円にて本日決議させていただきました。また期末につきましても 5.5 円の配当の見通しでございます。

以上、私から全社の決算の概要と SBU の足元の状況、最後に中間配当について説明をいたしました。

# テクノロジードリブンの 人材サービス企業への 進化に向けて

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【代表取締役社長 CEO 和田】

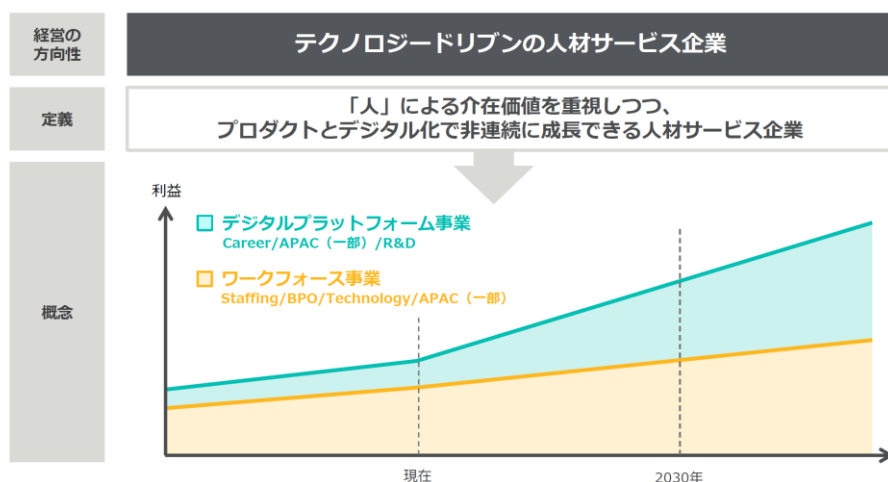
続きまして私の方から、今中期経営計画の取り組みの進捗を踏まえて少しご説明をさせていただきます。

## 経営の方向性

グループ中期経営計画資料より再掲  
(2023年5月15日開示)



パーソルグループが向かうべき方向性を下記のとおり定める



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

28

まずは我々の経営の方向性として、テクノロジードリブンの人材サービス企業になるということを掲げて進めております。特にこの表で見いただきますとおり、今までの Staffing SBU や BPO SBU の事業はワークフォース事業と定義しまして、どちらかと言いますと人員の増加とトップラインの増加がほぼリンクするという形の事業モデルでございます。今後、この上の方の水色のように、人員の増員と事業の成長がシンクロせず、人を増やさずともしっかりと事業を伸ばせる形、テクノロジーを活用したデジタルプラットフォームをより強化していこうという方針を立てて事業を推進しております。

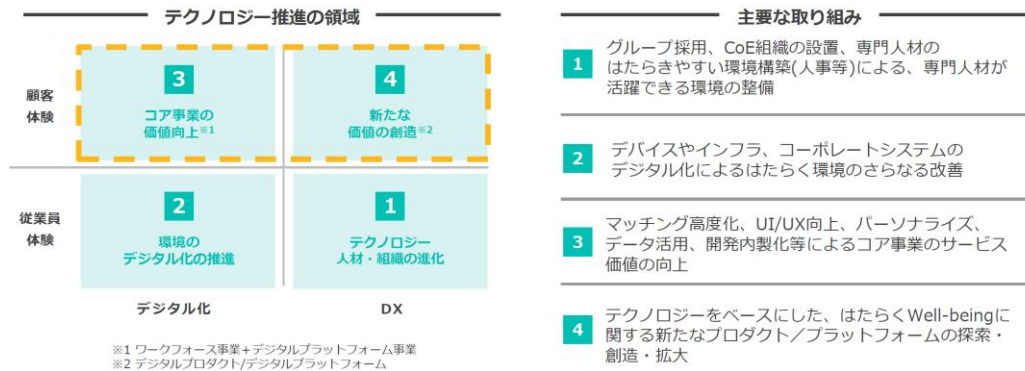
## 事業成長のエンジン：テクノロジー

グループ中期経営計画資料より再掲  
(2023年5月15日開示)



### テクノロジーの 方針

テクノロジーのCoE（Center of Excellence）組織をハブに、  
グループ全体のテクノロジー人材・組織の拡充とともに、  
事業・サービスでの実装・活用を強化する



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

29

我々はテクノロジーに関して主にこの 4 つの事象に取り組んでおります。今回、特に③コア事業の価値向上、それから④新たな価値の創造ということを意図した取り組みとして、次のページにございます Gojob を取得いたしました。

## Gojobの株式取得



- ・ 2030年に向け、「テクノロジードリブンの人材サービス企業」への進化を経営の方向性として定め、テクノロジー活用型ビジネスを重点投資領域として投資先を模索
- ・ 約2年のリサーチを経て、Gojobのビジネスモデルに勝機を見出し、同社の株式を取得

※以下の会社概要及び業績推移は、2025年10月1日適時開示の再掲。取得割合及び取得価額は確定値を記載

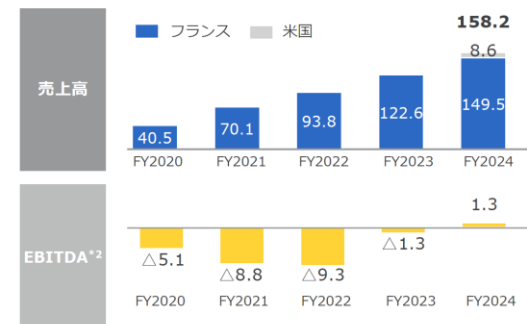
### ■会社概要

会社名	Gojob SAS
事業内容	AIドリブンの人材派遣プラットフォーム
設立年	2015年
代表者	CEO Pascal Lorne（創設者）
展開エリア	フランス、米国
従業員数	249名（フランス：230名、米国：19名） ※ 2025年3月時点
取得割合・取得価額	85.2%：122百万ユーロ（約213億円*1） ※ 2029年3月期100%子会社化予定 追加取得分の取得価額については、追加取得時のGojobの業績により変動。現時点の試算では、44百万ユーロ～71百万ユーロ（約77億円～124億円*1）の範囲になると想定

\*1 取得価額に加え、アドバイザー費用等約8億円（概算）が発生する見込み  
\*2 EBITDA=営業利益+減価償却費

### ■業績推移（フランス会計基準）

（単位：百万ユーロ）



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

30

10月1日に株式取得を発表いたしましたが、85.2%の株式を取得する形で、AIドリブンの人材派遣のプラットフォームを獲得いたしました。

## Gojobの強み



- ・ 最先端のAI技術を持つテックチームによって、**デジタル分野**で高い競争力を発揮
- ・ フランス政府の支援プログラム「French Tech」の有望スタートアップNext40に選出



- ・ フランスの人材サービス企業の中で、2024年度における**売上成長率第1位**
- ・ 過去4年間の**CAGR 約40%**
- ・ 来期以降も2030年に向けて**CAGR30%超**の高成長を継続し、**資本コストを上回る収益性**を達成予定



- ・ 国・地域や職種をまたぐ**拡張性の高いプラットフォーム**を構築、さらに**SaaS**として製品化することで価値を多層化
- ・ 最大市場である**米国に2021年に進出し**、フランスで確立したモデルを今後更に拡大予定

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

31

特に Gojob の持っている技術力、成長性、拡張性に非常に魅力があると判断をしております。約 2 年間様々な企業をリサーチしながらたどり着いた企業でございますので、しっかりと彼らの強みなども把握した上で、今回 M&A をさせていただきます。技術力、成長力それから拡張性、この 3 つがデジタルプラットフォーム事業の成長に非常にフィットする形だと認識しております。

## Gojobのビジネスサイクル



- ・ AIによりプロセスを自動化・デジタル化し、拡張性のある成長サイクルを構築
- ・ 高いリピート率や顧客満足度を誇り、顧客内シェア拡大により成長を更に加速
- ・ 好循環を生むテクノロジーを既存事業へ展開予定

### データの蓄積と高速学習

- ・ 精度が高まり続ける好循環を形成
- ・ 個人情報学習による顧客体験向上

求職者リピート率 **75%**

顧客満足度 **73** (業界平均18)

### 需要予測モデル

- ・ 需要予測モデル活用による顧客内シェア拡大

充足率 **90%+** (業界平均35%)



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

32

強みはこちらに記載しておりますが、典型的なのが、例えば確定までの時間が、今まで通常 2 日間ぐらいかかっていたところが 24 分でできる点や、候補者のキャンセル率が 1%を下回る点です。顧客サイドにも候補者サイドにも非常に満足度の高いサービスを提供できておりますので、左上に書いてございますとおり、求職者のリピート率が 75%、顧客満足度が 73 と非常に高く、業界の中でも非常に高い水準を維持できております。これが成長の源泉になっており、リクルーターの人数を増やさずとも売上を 5 年間で約 5 倍にしております。人員数は変えずに売上を 5 倍にできるモデルが出来上がっており、これを 1 つの形にして横展開できるモデルでございます。



## 来期以降の持続的成長 に向けて

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

こういったものを加えまして、来期以降も持続的な成長を進めていくとともに、収益率の改善もしっかりと目指していきたいと思っております。

## 中長期の事業成長に向けて



成長性と資本効率性を両立し、調整後EBITDA **10%成長**を目指す

Staffing	FY2027の調整後EBITDAマージン目標は6% AI/DXにより業務プロセスをデジタル化し、継続的に生産性を向上	ワークフォース事業は マージン改善に注力
BPO	FY2028の調整後EBITDAマージン目標は8% AI活用による省人化で原価率低減、売上拡大&統合効果による販管費率低減	
Technology	FY2028の調整後EBITDAマージン目標は10% 請負比率の増加による売上総利益率の向上、売上拡大による販管費率低減	
Career	AI投資及び第一想起獲得に向けたマーケティング投資に注力	引き続き利益成長の柱
Asia Pacific	収益性の改善を推進しつつ、事業ポートフォリオの最適化を図る	収益性改善及び ポートフォリオ最適化
その他	【既存】R&D FU各事業の収益化及び最適化を図る 【新規】10月にグルーピングしたGojobは高成長を継続	

■ 具体的な内容については2026年5月公表予定の次期中期経営計画において開示予定

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

34

特に国内での AI 活用をしっかりと進めていくということと、コア事業の価値を向上させるということを両立させ、Staffing SBU、BPO SBU、Technology SBU それぞれ、FY2027~FY2028 に調整後 EBITDA マージン目標を設定し、ここに記載したとおり、Staffing SBU 6%、BPO SBU 8%、Technology SBU 10%と、確実に収益率を改善させていきます。また、Career SBU においても、今後の AI 投資を一層加速させることによって、生産性の向上と事業拡張を同時に進めていく、こんな取り組みを進めてまいります。

加えまして Asia Pacific SBU におきましても、収益性の改善を進めていく取り組みを積極的に推進し、現状も改善に努めておりますので、それを確実に進めることで、今期以降も調整後 EBITDA の 10%の成長をしっかりと実現してまいりたいと考えております。

具体的な内容に関しましては、2026 年 5 月の決算のタイミングでもまたご説明ができると考えております。

# Group Topics

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

続きましてグループのトピックでございます。

## パーソルグループ統合報告書2025を発行



当社グループが企業価値を中長期的に向上させていくための道筋である「価値創造ストーリー」と、その実現に向けた戦略及び取り組みを紹介

※2024年度版は日経統合報告書アワード優秀賞、GPIFの運用機関が選ぶ「改善度の高い統合報告書」に選定

- CEOをはじめとしたマネジメント（CxO）による「中期経営計画2026」2年目の進捗レビュー
- 価値創造ストーリーの深化と構成要素の深掘り
- 財務情報の充実化



\* 統合報告書2025  
日本語版 英語版



\* ニュースリリースは[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

36

統合報告書 2025 を発行いたしました。これは中期経営計画の中間レビューというような意味もございますし、我々の中身をより詳しく皆様にご理解いただけるために用意しております。幸い昨年度はアワードをいただくとともに、GPIF からのご評価もいただいております。今年度もそれにしっかりと恥じないような形で内容を充実させておりますので、ぜひ皆様ご一読をいただければと思っております。

## 主要トピックス

ニュースリリースはこちら



Staffing	大阪・関西万博の運営業務経験者への合同キャリア支援を開始	▶▶▶
BPO	AIエージェント導入・活用コンサルティングサービスの提供開始	▶▶▶
Technology	AIでタイヤの溝と劣化を測定する「AIみぞみるくん®」、2025年グッドデザイン賞を受賞	▶▶▶
Career	第38回日経ニューオフィス賞の「推進賞」と「クリエイティブ・オフィス賞」を受賞	▶▶▶
Asia Pacific	12カ国・地域の業界トレンドを分析した「Industry Insight Report 2025」を公表	▶▶▶
その他/R&D	シェアフルでのアルバイト実績を就職活動でアピール 「シェアフルエージェント」と「dodaキャンパス」がサービス連携開始	▶▶▶
全社	「はたらく人のウェルビーイング実態調査2025」を発表	▶▶▶

AIみぞみるくん®



■Technology：高い測定精度と簡便性を実現し、自動車整備現場の実情に細やかに配慮した点が評価  
2025年度受賞



■Career：新オフィスのエントランスには、ミッションをビジュアル化した作品を展示



■Asia Pacific：Industry Insight Report2025

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

37

それから全般的なトピックス、さまざまございます。万博も終わりましたが、その方々への支援や、事業の中でも AI をしっかりと取り込んだ形での事業展開を進めており、さまざまなトピックスを記載しております。全社では、はたらく人のウェルビーイング実態調査 2025 を発表しております。我々は事業成長、社会的な価値と経済的価値、これを共存させることに取り組み、“はたらく Well-being”創造カンパニーになるということを自称し、それにしっかりとミートできるようにこういった取り組みをさせていただいておりますので、ぜひお時間ある時にご覧いただければと思います。

以上、私の方からの報告でございました。

(終)